

# ほっかいどうの社会保障

2011年11月16日 北海道社会保障推進協議会 Tel:011-758-2648 FAX:758-4666

## 国のあり方を変え、社会保障を改善しよう！

11月11日、「今こそ社会保障の拡充を！学習決起集会」が行われました。中央社保協代表委員の井上久さんが『「一体改革」はねかえしナショナル・ミニマムの確立をめざそう』というテーマで講演しました。

「大震災から8ヵ月を迎えたが復興が遅れているが、その要因に構造改革によってナショナル・ミニマムが壊されてきたことがある。今国のあり方が問われている」と指摘。野田政権は、TPPや社会保障を全面改悪する「一体改革」などをすすめ、国民世論に背を向け財界やアメリカに忠誠を誓っている。「一体改革」の最大の狙いは消費税増税、社会保障目的税化で負担増か消費税増税かの露骨な攻撃をしようとしている。一方、すでに反撃ははじまり、大震災を期に「自己責任論」にもひびが入ってきている。「一体改革」阻止の共同したたたかいを広げ発展させて、政治の転換、政策の合意も必要となっている。私たち国民は政権を倒した経験があると強調し、社保協の1000万人署名の取り組みの強化も呼びかけました。



### 保育、生保、低賃金労働など、各分野の実態やたたかいの広がりも交流

講演の後、現場で働く保育士の山下千代美さん、道生連の細川久美子副会長（生活保護）、札幌ローカルユニオン結の原幸雄委員長（低賃金労働と最低賃金）が、深刻な実態やたたかいの広がりなど発言しました。同日行われた「介護110番」の報告も行われ、フロアーからも年金改悪、看護師や高い医療費問題、消費税増税の問題点などについて発言がありました。

参加者から「改めて学ぶことの必要性や共同した取り組みの重要性を感じた」などの感想も寄せられました。

## 介護の日に合わせ、各地で電話相談、宣伝、パネル展も

介護する人もされる人もみんな笑顔に連絡会は、11月11日「介護の日」にあわせて、道内各地で「介護110番」や「宣伝行動」、11、12日は、札幌地下歩行空間で「介護パネル展」が行われました。

「介護110番」は札幌・旭川・函館・釧路の4ヵ所で実施しました。「ヘルパーの生活援助を利用していた母親と同居することになり生活援助を利用できなくなった。同居しているからとって、援助がいらぬわけではないのに」（旭川）「母が地方の特養に入所しているが、職員が忙しそうで、相談したくてもできない」（札幌）など11件の相談が寄せられました。また、「介護パネル展」は、今回は札幌地下歩行空間で実施しました。大変人通りの多い中で、介護現場での利用者・職員の「笑顔」の写真（40枚）に、足を止めてじっくりと観ていく人（高齢者だけでなく、現役世代の人も）、歩きながら横目で観ていく人など、たくさんの方の目にとまることができました。（「介護に笑顔」より）



## 11月23日は「とめよう！なくそう！原発」集会へ



### ◆全道各地の「とめよう！なくそう！原発」11・23集会◆

- |     |  |
|-----|--|
| 札幌  | 11月23日 11時集会・11時40分デモ/大通西8丁目                     |
| 函館  | 11月23日 13時～14時20分/千代台公園                          |
| 室蘭  | 11月23日 13時集会・14時デモ/中島連合会館                        |
| 苫小牧 | 11月23日 10時30分/苫小牧市民会館205号室                       |
| 北空知 | 11月23日 10時～12時30分/滝川ホール                          |
| 釧路  | 11月23日 13時～/はるか薬局3F会議室                           |
| 北見  | 11月28日 18時30分/サンライフ北見                            |
| 帯広  | 11月23日 13時～13時30分/JR帯広駅南周辺<br>(※十勝・帯広は街頭宣伝・署名行動) |